

平成20年度事業計画（案）

平成20年 4月 1日から

平成21年 3月31日まで

事業方針

平成20年度は、炊き出しのコンプライアンス作りを行う。

具体的には、埼玉県消防防災課と勉強会を行い、配食手法・衛生管理・燃烧機材・調理機材・LPガス等についての指針を纏める。

米国製バーナーメーカーにNPO-CAMPER仕様を公開し、正式に輸入する。また炊き出しに特化した調理機材も厳選し販売する事で、地域防災組織等へのマニュアルと機材をセットにした「誰もができる炊き出し」システムの普及をはかる。

埼玉県消防防災課との共同事業で、埼玉県内自主防災組織リーダー研修会を5回開催する事をきっかけに、埼玉県と共に避難所に置ける自主防災組織に求められるマニュアル作りを行う。

輸入調理機材調達が可能となったため、関西、中部地域に機材を配置し、地域拠点作りを行い、内閣府管轄NPOの申請と共に広域な活動を目指す。

使い方マニュアル等の発行資金を捻出するべく、イベントキャンプの運営にも積極的に取り組む。

事業計画

1. キャンパー育成部門

ふもとっぱら NPO 専用キャンプ場の企画・申請・運営

各種キャンプイベントの企画・開催

HP 掲載情報の作成

上記必要経費の計上

2. ネットワーク部門

ボランティアデータバンク構築に向けての調査・研究

会員専用メーリングリスト運用

日本調理科学会会員専用 ML の提供

ホームページの充実

装置・管理費の計上

3. 災害派遣部門

NPO 専用調理機材販売

防災研修企画運営

「僕たちの使い方マニュアル 2008-9」の発行

使い方マニュアル掲載団体との協働体制の確立

日本調理科学会と冷凍食品を利用した 2 週間メニュー共同研究

埼玉県保健医療部食品安全課と炊き出し時衛生管理の共同研究

埼玉県消防防災課と炊き出し時の燃焼機材等の共同研究

上記研究費の計上

4. コンサルティング部門

朝霧高原「ふもとっばら」セグウェイツアー企画運営

5. ホワイトタウン部門

ホワイトタウン専用トレーラーの研究

多目的調理トレーラーの研究及び試作

野外調理機材の開発

機材設置箇所の追加構築（関西方面）

上記調査・研究費の計上